



乾燥が本格化する時期に乾燥肌・敏感肌ケアを喚起

2月1日を ロゼット「セラミド」の日に制定

2月上旬より順次、Wセラミド配合による商品を発売

Wセラミド配合によるトータルスキンケアブランド「Skin mania (以下 スキンマニア)」を製造販売するロゼット株式会社は、2月1日をロゼット「セラミド」の日として一般社団法人日本記念日協会へ申請し、この度、正式に認定されました。気象庁が発表する最低湿度を記録する日が、例年、2月と3月に集中することから、2月の1日を乾燥シーズンの到来の日として、乾燥が原因による肌荒れで悩む方に向けて注意喚起を行うために、ロゼット「セラミド」の日を制定いたしました。



ロゼット株式会社は、1997年より医家向けにスキンケア商品を展開してきました。セラミドを配合し、乾燥肌・敏感肌の方のうるおいを守るメディカルスキンケアとして、皮膚科専門医の指導のもと研究開発を行い、全国の皮膚科クリニックをメインに診療科目を問わず、幅広くご愛顧いただけてきました。天然セラミドの効能をさらに追及するため、基礎研究を導入し、臨床テストの結果と併せて研究・分析を行っており、近年では学会でのセミナーでの発表実績を重ねています。医家の皆様はもちろん、お客様に安心してお使いいただけるよう、今後も天然セラミドの可能性を追及して参ります。

今回、ロゼット「セラミド」の日の制定を記念して、スキンマニアより“天然セラミド”と“発酵セラミド”の「Wセラミド」が配合されたスキンケア商品を2月上旬から順次発売いたします。天然セラミドは、うるおいを閉じ込めて乾燥による肌あれを防ぎ、肌表面でバリアとなって肌を保護する機能があり、発酵セラミドは、角層のバリアとなって、肌のうるおいをキープする機能があります。

東京の1年間の平均湿度は、昭和前半に比べて20%近くも低下していて、「超乾燥時代」とも言われています。そこで、スキンマニアは、湿度の減少から生じる“乾燥肌”や“敏感肌”など、女性が抱える悩みに対して、天然セラミドと発酵セラミドの「Wセラミド」配合による処方ですべてにスキンケアをサポートし、オフィスのエアコンや冬の乾燥シーズンなど、様々な乾燥ダメージにさらされる多くの女性のお肌に寄り添っていきます。

セラミド:保護成分

[報道関係者の方からのお問い合わせ先]

スキンマニアPR事務局 担当:中根(070-3190-3653)、深津
TEL:03-6894-3251 / FAX:03-5413-3050
E-mail:skinmania_pr@ssu.co.jp

セラミドとは・・・

ここ数年の最新研究から、改めてセラミド、特に「天然セラミド(セレブロシド)」の機能性について注目が集まっています。

セラミドのはじまり

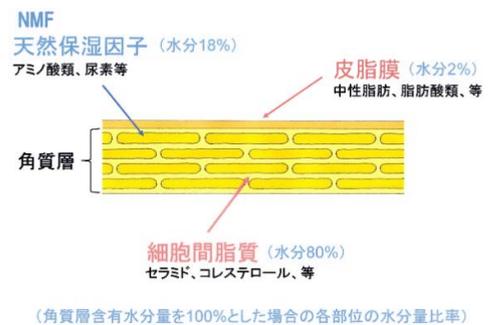
最初にセラミドが発見されたのは約130年前。ドイツの科学者が人の脳神経を保護する物質から見つけ出し、「スフィンゴシン」(スフィンゴ塩基)と名付けました。古代エジプトの「スフィンクス」と同じように謎に満ちた物質だった為、「スフィンゴシン」と命名したと言われています。「セラミド」は「セレブロシド」と「アミド」という言葉を結合して作られた造語です。セレブロシドの語源はラテン語のcerebrum(ケレブルム:脳)から来ています。脳神経を保護する物質でスフィンゴシンに脂肪酸がアミド結合した構造だったので「セラミド」という名称になりました。

セラミドは皮膚の3大保湿因子のひとつ!

皮膚には元々備わっている保湿成分があります。

皮膚表面をカバーしている「皮脂膜」と角質細胞に多く含まれるアミノ酸類のNMFと言われる「天然保湿因子」(Natural Moisturizing Factor)、そして「細胞間脂質」です。これを皮膚の3大保湿因子と呼んでいます。この3つの保湿因子がバランスを取りながら、からだの中の水分の蒸散や、外部からの異物の侵入を防ぎ、皮膚のうるおいを保っています。3大保湿因子の中でも、特に大きな役割を果たしているのが細胞間脂質。そして、その約50%を占めるのがセラミドです。皮膚角質層をレンガ塀に例えると、角質細胞がレンガでセラミドがレンガとレンガの隙間を埋めるモルタル(セメント)だと言えます。この隙間をしっかりと埋めなければ、レンガ塀としての役割を果たせません。皮膚の3大保湿因子の中でも最も多くの水分を抱えている細胞間脂質のセラミドが減少すると、皮膚の保湿バリア機能は大きく低下し、様々な刺激に対して過敏になり、炎症を繰り返す肌になってしまいます。実際にアトピー性皮膚炎の患者さんの皮膚ではセラミドが健常者と比較して顕著に減少していることがわかり、1990年代にはアトピー性皮膚炎の救世主としてセラミドが話題になりました。また、健常肌の人にとっても20才代をピークに年齢とともにセラミドは減少していくことがわかっています。

皮膚の3大保湿因子



セラミドの種類

化粧品原料のセラミド

- 1.疑似セラミド :化学合成
セラミド機能成分と表現
表示名「セチルPGヒドロキシエチルパルミタミド」
- 2.バイオセラミド:酵母を利用してセラミドを生成
ヒト型セラミドと表現
表示名「セラミド2」「セラミド3」等
- 3.植物性セラミド:穀物、果実などから抽出精製
天然セラミドと表現している製品もある
表示名「米ヌカセラミド」「リンゴセラミド」等
- 4.天然セラミド :馬の脊髄から抽出
元祖・天然セラミド
表示名「セレブロシド」「ウマスフィンゴ脂質」

化粧品原料として使われているセラミドには大きく分けて4種類あります。この4種類の中で、天然セラミドが構造的にも組成においても、人のセラミドに一番近いセラミドとされています。最新の研究で、天然セラミドは自分自身のセラミド生成を促進するメカニズムが新たにわかってきています。

天然セラミドは、自分自身のセラミド生成を促進する効果だけでなく、NMFの生成促進作用と角質細胞の細胞膜強化の効果の研究も進められています。まだ解明されていない数多くの効果を秘めており、多くの期待が寄せられている成分です。

[報道関係者の方からのお問い合わせ先]

スキンマニアPR事務局 担当:中根(070-3190-3653)、深津
TEL:03-6894-3251 / FAX:03-5413-3050
E-mail:skinmania_pr@ssu.co.jp

トータルスキンケアブランドSkin maniaから新ミスト化粧水が登場

セラミド うるおいバランスミスト 2月上旬売開始

超乾燥社会で戦う女子の救世主!いつでもどこでもうるおいチャージ

色々なシーンでうるおいチャージ

- メイクアップ完成後の仕上がりのキープに
- メイク直しの時の肌の水分補給に
- 乾燥しているオフィスでの水分補給に
- 花粉が気になる季節に
- 飛行機の中で乾燥が気になった時に など

POINTS

1 Wセラミド配合

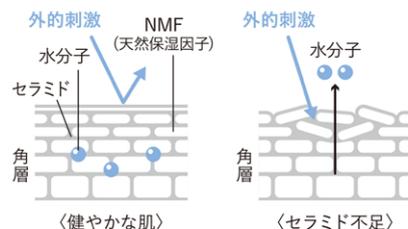
2種のセラミドが保護と浸透*保湿をします。
※角層まで

天然セラミド:

うるおいを閉じ込めて乾燥による肌あれを防ぎ、肌表面でバリアとなって肌を保護

発酵セラミド:

肌になじみやすく、各層のバリアとなって、肌のうるおいをキープ



2 抗炎症有効成分「アラントイン」配合(医薬部外品)

肌あれ・ニキビを防ぎ、外的刺激にさらされる肌を健やかに保ちます。

3 Wヒアルロン酸保護ヴェール配合

2種のヒアルロン酸によって肌表面に保護ベールを形成し、チリ・ホコリの付着を防ぎます。

吸着型ヒアルロン酸(ヒアロベール®):
チリ・ホコリの付着抑制

浸透型ヒアルロン酸(ヒアロオリゴ®):
うるおいで与え刺激を抑制

4 みずみずしいハーバルフレッシュの香り

無着色料、無鉱物油、アルコールフリー、パラベンフリー



セラミド うるおいバランスミスト商品概要

- 発売日: 2019年2月上旬 ロフト先行発売
2019年2月下旬 全国バラエティショップ ※一部店舗除く
- 価格: 1,200円
- 内容量: 80ml
- 流通: 全国ロフト、全国アインズ&トルベ
他、全国のバラエティショップ、
ロゼット公式WEBサイトにて発売予定 ※一部店舗除く



[報道関係者の方からのお問い合わせ先]

スキンマニアPR事務局 担当:中根(070-3190-3653)、深津
TEL:03-6894-3251 / FAX:03-5413-3050
E-mail:skinmania_pr@ssu.co.jp